



2022. 11. 11. №1426
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 清水漁協用宗支所青壮年部が県知事賞を受賞！ — 県青年・女性漁業者交流大会 —

静岡県と本会は、去る10月19日に用宗公民館（静岡市）において、第28回静岡県青年・女性漁業者交流大会を開催しました。

大会は、県経済産業部水産・海洋局の板橋局長による主催者あいさつ、審査員紹介、来賓紹介の後、以下の発表が行われました。

＜実績活動発表＞

『用宗はしらすだけじゃない！

— 「ワカメ」と「アカモク」の二刀流で地域活性化—』

清水漁協用宗支所青壮年部 斉藤貴浩 さん

発表終了後、審査委員6名（審査委員長：萩原快次郎水産・海洋技術研究所長）により厳正な審査を実施した結果、県知事賞を受賞することとなりました。

県知事賞を受賞した清水漁協用宗支所青壮年部の発表内容は、来年3月に東京で開催予定の全国大会に県代表として推薦されました。

また、大会終了後には清水漁協用宗支所に場所を移し、ワカメ養殖施設と加工場の見学を行い、発表者と参加者で意見交換を行いました。

2. イトウ漁協高田組合長の表彰が決定！ — 大日本水産会 令和4年度水産功績者表彰 —

一般社団法人大日本水産会（白須敏朗会長）は、10月18日に開催された水産功績者表彰委員会において、全国都道府県知事から推薦された候補者を主体に慎重詮衡を行い、水産功績者36名の表彰を決定しました。

本県漁協関係者としては、高田充朗氏＜本会代表理事副会長、イトウ漁協代表理事組合長＞が表彰されることとなりました。

ここに、高田様の表彰を心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈り致します。

3. 大井川港漁協村松組合長が受賞！ — 令和4年度静岡県農林水産業功労者表彰 —

静岡県と農林水産業の関係団体で組織する静岡県農林水産業振興会（会長：川勝県知事）は、11月4日静岡県庁西館会議室において令和4年度静岡県農林水産業功労者表彰式を行い、個人の部の受賞者27人に表彰状が授与されました。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

水産業部門3人の受賞者のうち漁協系統関係者では、村松清幸氏＜大井川港漁協代表理事組合長＞が、桜えび、しらす船びき網漁業に従事する傍ら、漁協事業の強化を通じ地元水産業の振興発展に貢献した功績が認められ受賞されました。

ここに村松様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

4. 第71回全国漁港漁場大会が函館市で開催 — (公社)全国漁港漁場協会主催 —

10月19日（水）北海道函館市の函館アリーナにおいて、第71回全国漁港漁場大会が開催され、全国から関係者約1,400人が参加しました。

大会では、(公社)全国漁港漁場協会 橋本牧会長が主催者挨拶で「社会、経済活動がグローバル化する中、私たちの生活にも深刻な危険性を及ぼす可能性がある。これからの漁港漁場整備もリスクに対する復元力を備えた姿を目指すべき」と強調、併せて漁港漁場整備長期計画の具体的な実行の必要性に触れ、「後継者が育つ力強い水産業を実現し、活力ある豊かな漁村を目指して一層の団結を求めたい」と訴えました。その後、野村哲郎農林水産大臣（田中郁也水産庁漁港漁場整備部長代読）、坂本雅信 JF 全漁連会長、白須俊朗大日本水産会会長（長岡英典常務代読）など来賓が祝辞を述べました。また、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長も現地に駆け付け2023年度予算の獲得に尽力する旨を述べました。

それに対し、開催地を代表して鈴木直道北海道知事が参加者に感謝の意を示し「全国の漁港や漁場の整備を着実に進め、水産業が魅力ある産業として発展できるようにしていく」と歓迎の言葉を述べました。

議事に入り、議長に高橋昌幸北海道漁港漁場協会会長（神恵内村長）を選出。①成長産業化に向けた漁港の生産・流通機能強化や増養殖、②海洋環境変化に適合した漁場整備、③強靱化・長寿命化対策、④海業振興と漁村活性化、という4本柱を掲げ、提案理由の説明や事例発表が行われ、最後に高松美津枝北海道漁協女性部連絡協議会会長が提言の読み上げを行い、満場一致で採択されました。

なお、来年の第72回大会は東京都の東京国際フォーラムで開催を予定しています。

5. 桜えび秋漁初水揚げ！ — 由比港・大井川港合わせて約3.2トンの水揚げ —

11月6日夕方に2022年度桜えび秋漁が初出漁し、由比港・大井川港に合わせて約214杯（約3.2トン）が水揚げされました。

7日早朝に行われた初競りでの平均単価は由比港で約4,530円/kg、大井川港で約4,180円/kgとなりました。今年の秋漁は12月25日までの操業予定となっています。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう